

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	道路台帳補正事業			会計	款	項	目	大	小
				01	08	02	01	03	51
政策	01	1節	整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	道路管理課				
施策	1-5	土地利用・生活環境に配慮した道路整備		主管課長	鈴木 和男				

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山市が新たに認定又は廃止及び拡幅改良した市道	意図	開発及び区画整理等により、新規認定又は廃止される道路の属性等を台帳として整備し、市道を適正に管理する基礎資料とする。
事業内容	・新たに市道として認定又は廃止された道路及び、拡幅改良事業により整備された道路の告示が完了した市道の他、境界確定申請に基づき確定した市道について、その属性（延長・幅員等）を把握し、道路台帳を補正して管理する。道路法第28条に基づく。			
事業開始から現在までの状況変化	・昭和61年度における市道の一括認定廃止に伴う市道の見直しより開始。ただし、電算化の導入にあたり、昭和60年度より準備作業に着手した。運用開始時には現場と調書の数値が一致しない等の混乱が生じていたが、現在は事業化により単年度毎での補正処理が可能になったため、道路に関する照会や、国、県からの調査（道路現況調査、公共施設現況調査）への対応が迅速になった。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		市道認定・廃止・拡幅改良延長	6.81	7.59	7.63	km	
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・道路境界が確定して作図された図面は、随時蓄積されるが、補正作業までの間は職員により台帳に表示している。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		20,873,000	23,736,500	21,987,899			
事業費(b)(円)		9,660,000	12,810,000	11,178,000			
うち一般財源		9,660,000	12,810,000	11,178,000			
職員給与費(c)(円)		11,213,000	10,926,500	10,809,899			
人役・職員(人)		1.50	1.50	1.50			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)		0.30	0.30	0.30			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H26)の改善計画	・区画整理施行者と連携して計画的な引継ぎ認定を実施する。
今年度(H26)に実施した取り組み	・開発行為における、引継路線の認定可否について現地調査を実施した。

取り組みの課題	・区画整理事業者からの引継ぎが計画通りに運ばないため、常に台帳補正のスケジュールを管理する必要がある。
今後の改善計画	・補正用データを蓄積させず、随時、受託者へ提供していく。